

## 令和3年 総務大臣年頭所感



総務大臣

たけだ りょうた  
武田 良太

新年明けましておめでとうございます。

昨年の9月、総務大臣を拝命しました。総務大臣として、責任を持って、所管分野の諸課題に向き合っていきたいと思っています。

総務省は、国民生活に密着した分野が多く、新たな国家像、社会構造を築く上での基盤となる多くの政策を担っています。新型コロナウイルス感染症への対応と地域経済の活性化との両立を図りつつ、ポストコロナ時代にふさわしい質の高い経済社会の構築に向け、国民の側から見て、将来の国民生活にとって正しい政策であるか否かを冷静に見極めながら、問題解決の結果を出し、取り組んでまいります。

「新たな日常」の構築には、テレワークや遠隔教育・遠隔医療を支える情報通信基盤の整備が不可欠です。5Gや光ファイバ等の一刻も早い全国整備に取り組むとともに、地域の課題解決に資する「ローカル5G」の普及展開を促進してまいります。

国民にとって生活必需品である携帯電話の料金については、各事業者から低廉な新料金プランの発表がなされるなど選択肢が広がりつつありますが、昨年公表した「アクション・プラン」に基づく公正な競争環境の整備を通じて、国民が「低廉化の恩恵」を実感できるよう、引き続き、強力で押し進めてまいります。

また、社会全体のデジタル変革の中で、誰もがその果実を享受できるようにしなければなりません。国民の誰もがデジタル機器を使いこなし、必要な情報を入手・活用できる環境の構築に向けて、総合的に支援します。

国民の皆様が安心してデジタル技術を利用するために、安心・安全で信頼できるサイバー空間の確保は極めて重要です。このため、サイバーセキュリティに関する情報の分析と人材の育成に一体的に取り組む環境を構築するとともに、

量子暗号通信など最先端の技術開発に戦略的に取り組みます。

また、国民一人一人のデジタル技術の利用方法も重要です。特に、個人の人格を傷つけるなどのインターネット上の誹謗中傷は許されません。発信者情報開示に関する制度整備に取り組むとともに、情報モラルやICTリテラシー向上のための啓発活動を実施するなど、総合的な対策を講じます。

あわせて、ポストコロナを見据えた産業競争力の向上に向け、5Gのその先である「Beyond 5G」を見据え、研究開発基金を創設するとともに、量子暗号通信、AI同時通訳等の先端技術の開発や研究基盤の強化に、官民の英知を結集して取り組みます。また、我が国の企業がグローバル市場で戦う後押しをするために、知的財産の獲得や研究開発成果の国際標準化を戦略的に進めてまいります。

さらに、世界のデジタル変革への貢献に向け、5G、光海底ケーブルなどの海外展開を図るとともに、AIの利用やデータの流通に関する国際的な共通認識の醸成を進めます。また、放送コンテンツの海外展開を支援し、地域の魅力を世界に発信していきます。あわせて、郵便、消防、行政相談、統計などの国民生活に広く関わる分野についても、総務省の政策資源を総動員し、国際展開を進めてまいります。

国民が当たり前で望んでいるサービスを実現し、デジタル化の利便性を実感できる社会をつくるため、総務省としては、「社会全体のICT化」に積極的に取り組みます。昨年末に策定された基本方針を踏まえ、引き続き、本年予定されているデジタル庁の創設に向けて協力し、デジタル関係の政策全般について、関係大臣と協力して推進してまいります。

皆様の今年のご健勝・ご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年元旦